

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾461-1
電話 0267-67-2460

2025(令和7)年

仏暦2568年

7月号

(第166号)

実践運動 総合テーマ『そとつながる ホッがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～』



法住 話職

二心なく疑いなく一心に



正信念仏偈に学ぶ
天親菩薩造論
帰命無碍光如来
天親菩薩、『論』を造りて説
かく、無碍光如来に帰命
したてまつる。

「現代語訳」
天親菩薩は、『浄土論』を
著して、「無碍光如来に帰
依したてまつる」と述べら
れた。

ここからは、七高僧の二人
目で、同じくインド出身の天
親菩薩になります。お釈迦さ
まの説かれた『無量寿経』
に基づいて『浄土論』を著
されました。

世尊我一心 帰命尽十方
無碍光如来 願生安楽国
『浄土論』はこの四句で始
まります。現代語訳では、
「世尊よ、わたしは一心に尽
十方無碍光如来に帰命した
てまつり、安楽国に生まれた
いと願う。」と訳され、さら
に、親鸞さまは『尊号真像銘

文』で解説されます。
「世尊我一心」というのは、
「世尊」とは釈尊であり、「我」
というのは世親菩薩がご自身
のことをおっしゃっているの
である。「一心」というのは、
釈尊の仰せに対して二心な
く疑いがないということであ
り、すなわちこれは真実の信
心である。「帰命尽十方無碍
光如来」というのは、「帰命」
とは「南無」であり、また
「帰命」というのは阿弥陀仏
の本願の仰せにしたがうとい
う意味である。「尽十方無碍
光如来」というのは、すなわ
ち阿弥陀仏のことであり、こ
の仏は光明そのものであ
る。「尽十方」というのは、「尽」
とは「つくす」といい、「こ
とごとく」ということであり、
光明が余すところなくすべ
ての世界に満ちわたっておら
れるのである。「無碍」とい
うのは、さまたげられること
がないというのである。さま
たげられることがないとい
うのは、衆生の煩惱や悪い行
いにさまたげられることがな
いのである。「光如来」とい

うのは、阿弥陀仏のことであ
り、この仏は不思議光仏
ともいう。この仏は智慧が
光のすがたをとったものであ
り、その光が数限りないすべ
ての世界に満ちておられるこ
とを知るがよいというのであ
る。「願生安楽国」というの
は、世親菩薩が、無碍光仏で
ある阿弥陀仏の名を称え
て疑いなく信じ、安楽国に生
まれようと願っておられるの
である。
世親は天親菩薩のことで、ご
自身が、二心なく一心に阿
弥陀仏の名を称え安楽国
(浄土)に生まれようと願
っておられるというのです。
特に、前に「難中の難」
と信じることの難しさに触れ
ましたが、同じように二心
なく疑いなく信ずることが私
たちには難しいからこそ、
「我」といわれご自身のこと
として仰 っておられるので
す。ですから、仏教を学び知
識を得ることは、同時に私自
身の事としてきかせていただ
くという姿勢が大切だとい
うことです。

浄土真宗 新 仏事のイロハ

五、礼儀と作法

― お寺に親しむために ―

「帰敬式と法名」

法名は死んでからの名前ではない！

「ご本山で法名をいただいたら…」と、あるご門徒に勧められたところ「あれは死んでからもらうのじゃないのですか？」と聞き返されました。「釋○○」という法名は、「死んでからの名前」と思っている方がいるのです。確かに、亡くなった時に、手次ぎのお寺の住職が法名をつけ、葬儀に臨まれることが多くあります。しかし、それはあくまで「緊急」の処置で、本来の姿ではありません。

そもそも、法名というのは、仏法に皈依した人の名前（キリスト教のクリスチャン・ネームのようなもの）で、主に本願寺で行われる帰

敬式（おかみそり）を受け、た人に対して、本願寺住職（ご門主）から授与されるものなのです。つまり「仏教徒としての自覚を持って生きる」証しの名前であり、生きている間に授かるべき性質のもので

す。葬儀の時、導師の住職が授けるのは、生前、こうした帰敬式を受けることなく亡くなったからで、本願寺住職（ご門主）に代わって行っているのです。

「それでは葬儀の時も、俗名のままでよい」と言われる方がありません。



帰敬式（おかみそり）

しかし、「亡き人は阿弥陀さまの救いによつて浄土に生まれ、仏さまになられているのです。そうした亡き人を偲ぶ時、俗名でなく法名がふさわしいと言えましょう。

ところで、浄土真宗では戒名という言い方はしません。なぜならば、戒名は、自力修行をめざし受戒した人に対して授けられる名前であり、自力修行をしない浄土真宗にはそぐわないからです。まだ法名をいただいていないご門徒は、ぜひ帰敬式を受けられ、名実とも「浄土真宗の門徒」になってください。なお、帰敬式は本願寺で、特定日を除いて毎日、晨朝（朝六時からのお勤め）後と午後一時半から行われています。詳しくは本願寺にお尋ねください。

「浄土真宗 新 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より」



年忌法要表

1 周忌	2024 (令和 6) 年	23 回忌	2003 (平成15) 年
3 回忌	2023 (令和 5) 年	25 回忌	2001 (平成13) 年
7 回忌	2019 (令和 1) 年	27 回忌	1999 (平成11) 年
13 回忌	2013 (平成25) 年	33 回忌	1993 (平成 5) 年
17 回忌	2009 (平成21) 年	50 回忌	1976 (昭和51) 年

編集後記

猛暑が続く、「熱中症警戒アラート」という言葉も、毎日聞くのが慣れてきてしまっているような気がします。◆寺報の編集中に、ウトウトして昼寝してしまい起きたら気分が悪く、慌てて水分補給をするようなことがあります。エアコンの部屋でも危険なところばかりです。お互いに気を付けましょう！